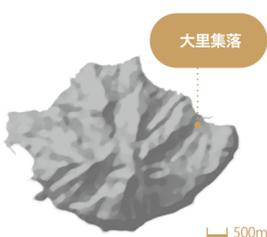




三島村・鬼界カルデラジオパーク 2021 鹿児島県三島村カレンダー



大里

ガラス瓶と島民の記憶
いま考古学には「パブリック・アーケオロジー」という研究成果と社会の関わりを重視する考え方があつた。この考え方は、大里の考古学調査でも実践されて興味深い成果をあげている。

鹿児島国際大学の中国聡研究室は、二〇一四年と二〇一七年に大里集落を調査した。同研究室の平川ひろみさんは、現代の時代の発掘品にも目を向け、発見した瑠璃色のガラス小瓶を調べた。八〇歳代の大里出身者によれば、これは「神薬」と呼ぶ置き薬の容器らしい。一九四〇年代のものだと推測される。

その調査で「子供時代、腹痛時にお湯に混ぜて飲んだこと」「常備薬で、大人も携帯して頭痛のときに舐めたこと」「少し甘い味だったこと」「戦前まで、硫黄島の薬売りが黒島に来ていたこと」などがわかった。かつて黒島では、中世の石鍋を削って腹痛や火傷の薬にする民間療法があつたという。神薬の話とともに、医療機関がない時代の苦勞がしのばれる。

また、葉売りの特徴を硫黄島出身者に話したところ、偶然本人の祖父だつた。「神薬瓶の調査を通じて、硫黄島と黒島の歴史が繋がつた瞬間の感動は忘れられません」と平川さんは語る。古い物には、失われた生活風景を、当事者たちの口から鮮やかに蘇らせる力がある。

出典

表紙『ガラス瓶と島民の記憶』
【取材協力】平川ひろみ（鹿児島国際大学）
【写真提供】平川ひろみ（鹿児島国際大学）
【参考文献】平川ひろみ．（2018）．「近現代考古資料としてのガラス瓶と島民の記憶：三島村黒島大里遺跡出土遺物の考古学的記録、オーラル・ヒストリー、アイデンティティの再構築」．『日本情報考古学会講演論文集＝Papers and proceedings of Japan Society for Archaeological Information』, 20, pp. 12-17

1月『馬方踊り』
【取材協力】山崎晋作
【写真提供】山崎晋作
【参考文献】三島村誌編纂委員会（編）（1990）『三島村誌』。

2月『大里の土器』
【取材協力】鹿児島国際大学考古学研究室（中国聡研究室）・三島大里学園
【写真提供】鹿児島国際大学考古学研究室（中国聡研究室）
【参考文献】中国聡（2010）『大里小・中学校保管の考古学資料について－土器を中心として－』鹿児島国際大学文化学部中国聡 / 三島村教育委員会（編）（2015）『黒島平家城遺跡；大里遺跡ほか：村内遺跡発掘調査等事業報告書』『三島村埋蔵文化財調査報告書，第1集』 / 三島村誌編纂委員会（編）（1990）『三島村誌』。

3月『葉蘭（はらん）』
【取材協力】寺田仁志（鹿児島大学）
【写真提供】寺田仁志（鹿児島大学）
【参考文献】「葉蘭」. goo 辞書（提供元・デジタル大辞泉）<<https://dictionary.goo.ne.jp/word/%E8%91%89%E8%98%AD/#jn-179984>>（参照日 2020年10月12日）
「ハランとは」. 育て方図鑑 | みんなの趣味の園芸 NHK 出版。<https://www.shuminoengei.jp/m-pc/a-page_p_detail/target_plant_code-742>（参照日 2020年10月12日）

4月『赤壁』
【取材協力】山崎晋作
【写真提供】山崎晋作・大岩根尚・三島村
【参考文献】三島村誌編纂委員会（編）（1990）『三島村誌』。 / 小林哲夫．（2008）．「P46 鬼界カルデラ・竹島の火山地質（ポスターセッション）」．日本火山学会 2008 年秋季大会」．『日本火山学会講演予稿集』, 2008 巻, セッション ID P46, p. 138
【テキスト監修】大岩根尚

5月『神山（冠岳）』
【取材協力】鹿児島大学 寺田仁志・日高寛・米盛レイ子
【写真提供】上堂泰輔
【参考文献】寺田仁志, 立久井 昭雄．（2017）．「神山にタブノキの巨木林があるトカラ列島平島の植生」．『鹿児島県立博物館研究報告』, 36, pp.39-71.

6月『学校の門（竹島の道）』
【取材協力】山崎晋作
【写真提供】山崎晋作・三島村
【参考文献】三島村誌編纂委員会（編）（1990）『三島村誌』。

7月『ビンゲの唐揚げ』
【取材協力】川野静・徳永博子・重藤亜貴
【写真提供】徳永博子
【参考文献】「オヤビッチャ」.公益財団法人黒潮生物研究所。<<https://kuroshio.or.jp/creature/%E3%82%AA%E3%83%A4%E3%83%93%E3%83%83%E3%83%81%E3%83%A3/>>（参照日 2020年10月12日）
「オヤビッチャ」. 沖縄美ら海水族館。<<https://churaumi.okinawa/fishbook/00000098/>>（参照日 2020年10月12日）

8月『逆松と硫黄島の盆』
【取材協力】安永瞳
【写真提供】荒木真帆・三島村
【参考文献】三島村誌編纂委員会（編）（1990）『三島村誌』。 / 小畑祐一．（2015）．「柱松の研究」。

9月『片泊の遺跡』
【取材協力】鹿児島国際大学考古学研究室（中国聡研究室）・山田和広
【写真提供】鹿児島国際大学考古学研究室（中国聡研究室）

【参考文献】三島村教育委員会（編）（2015）『黒島平家城遺跡；大里遺跡ほか：村内遺跡発掘調査等事業報告書』『三島村埋蔵文化財調査報告書，第1集』 / 鹿児島国際大学考古学研究室（中国聡研究室）（編）（2015）『南方世界への窓口 鹿児島』鹿児島国際大学考古学研究室（中国聡研究室） / 中国聡（2017）『大里遺跡発掘調査 現地説明会資料』鹿児島国際大学考古学研究室（中国聡研究室）

10月『車輪梅（シャリンバイ）』
【取材協力】折田恵美子・樋渡円・上国料好子
【写真提供】三島村
【参考文献】「車輪梅」. goo 辞書（提供元・デジタル大辞泉）。<<https://dictionary.goo.ne.jp/word/%E8%BB%8A%E8%B3%AA%E6%A2%85/#jn-102799>>（参照日 2020年10月12日）

11月『黒島みかん』
【取材協力】日高寛
【写真提供】三島村
【参考文献】三島村誌編纂委員会（編）（1990）『三島村誌』。

12月『硫黄島の霜月祭』
【取材協力】安永瞳・折田大輔
【写真提供】三島村
【参考文献】三島村誌編纂委員会（編）（1990）『三島村誌』。